

第2学年 算数科指導案

日 時 平成29年6月

場 所 2年生教室

1, 単元名 「100より 大きい数」

2. 教材観

児童は1学年で120程度までの数を対象に学習してきたが、本単元では数の範囲を1000まで拡張する。本時では「何十 + 何十」の加法や、くり下がりのある「百何十 - 何十」の減法の計算方法を、10を単位とした数の相対的な見方を生かしながら考えさせていく。

3, 児童の実態

6月初めに実施したプレテストの結果は、次のようであった。

- ・おはじきの数を「10のまとまり」を作って数えた・・・・・・・・・・22人
- ・「10を10こあつめた数は100である」と答えた・・・・・・・・・・25人 (29人中)

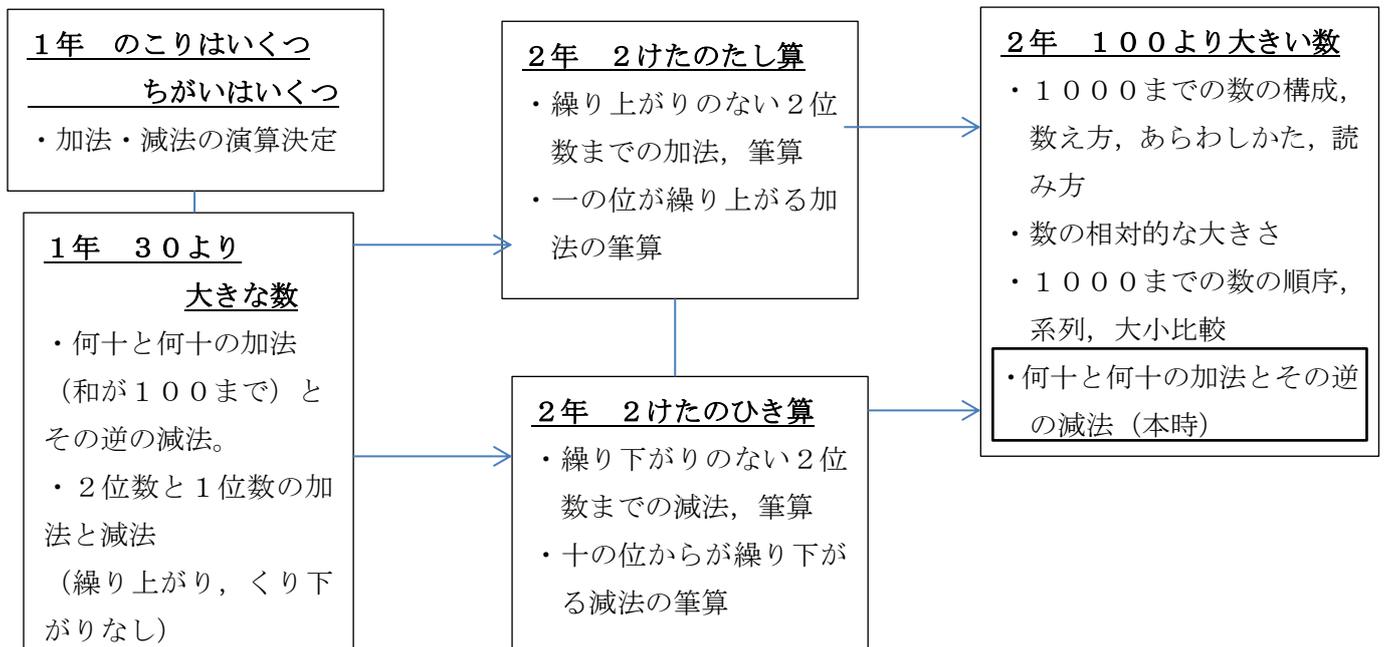
この結果から、児童は「10のまとまり」がいくつあるかという考え方を身に付けている児童が多い。従って、本時の学習に当たっても「10のまとまり」をもとにして計算のしかたを考えることに抵抗はないと思われる。

4, 研究主題と関わって

〈研究内容2〉習熟を図る時間と機会を確保するための学習展開の工夫

- ・終末で、確認問題に取り組みさせる。その時間を確保するために導入部分で簡潔に見通しがもてるようにする。
- ・前単元での学習の流れを想起しやすいように、掲示物を工夫したり、「学び」タイムを有効に使ったりする。

5, 関連と発展



6, 本時のねらい

くり上がりのある「何十 + 何十」や、くり下がりのある「百何十 - 何十」のような計算は、「10のいくつ分」ということをもとにすれば、一位数同士の加法や減法と同じように計算できることを理解することができる。【知識・理解】

7, 本時の展開 (10 / 15)

過程	主な学習活動	◇研究との関わり ○評価規準
導入 8分	<p>1, 問題を読み、学習の方向をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>80円の牛にゅうと 50円のおかしを買います。合わせて 何円でしょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・合わせてだから、たし算だ。 ・式は 80+50だ。 くり上がりがありそうだ。 <p>2, 課題を作る。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>くり上がりのある 何十+何十のけいさんのしかたを かんがえよう</p> </div>	
展開 30分	<p>3, 見通しをもち、各自考える。</p> <p>A ⑩⑩⑩⑩⑩⑩⑩⑩ ⑩⑩⑩⑩⑩ ⑩が8こと、5こで 8+5=13、 ⑩が13こぶんだから、こたえは130円だ。</p> <p>B $\begin{array}{r} 80 + 50 \\ 20 30 \end{array}$ $80 + 20 = 100$ $100 + 30 = 130$ こたえは 130円だ。 </p> <p>C $\begin{array}{r} 80 \\ + 50 \\ \hline 130 \end{array}$ ・0をかくせば、8+5と同じように考えることができる。 こたえは 130円だ。 </p>	<p>◇研究内容3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆算をいきなりやろうとする児童には、その答えが正しいかどうかを確認するためにも、他の方法はないかか促す。 ・AとCの考え方の似ている点ではCの「0をかくす」という意味を考えさせる。 ・「10のいくつ分」という言葉を意識できるように 板書に位置づける。
	<p>4, 全体交流をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AとCの似ているところは、どこだろう。 どちらも、⑩のいくつ分かをもとにして考えている。 <p>5, りんご問題に取り組む。</p> <p style="text-align: center;">$150 - 80 = 70$</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>10のいくつ分と かんがえれば できる。</p> </div>	<p>◇研究内容2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加法でできたことが、減法でもできるのかを確認させる。 <p>◇研究内容2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早くできた児童は、レッツトライにも取り組ませる。
終末 7分	<p>6, P64練習問題1に取り組む。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>くり上がりのある「何十+何十」や、くり下がりのある「百何十一何十」のような計算は、10のいくつ分かをもとにして考えればよいことを理解している。</p> <p style="text-align: right;">【知識・理解】</p> </div>

